

会員各位

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の事業運営に格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「9月例会」を下記により開催いたします。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、ご出席の有無を9月12日(木)までに本メール宛にご返信くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

=====
1. と き

平成25年9月17日(火) 12:00 ~ 14:00

2. ところ

ガス燈 (今池ガスビル 8階 レストラン個室)

今池交差点南西角 ※地下鉄今池駅10番出口より直結

名古屋市千種区今池1-8-8 TEL 052-732-2944

3. 講演テーマ

『狂言の魅力 ～伝統芸能における技芸の伝承～』

SAM名古屋支部9月例会では、名古屋女子大学文学部・大学院教授の林和利先生にご登壇いただきます。「人間国宝」野村万作師に師事し、謡(うたい)に始まる技芸を磨かれた林先生による、理論に留まらないお話を伺う予定です。名古屋狂言界の様々な活動にも多く尽力され、この地域における狂言復興の立役者のお一人でいらっしゃいます。今回は狂言の概説から、家元制度のこと、稽古の現場のお話も交えてご講演いただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

4. ゲストスピーカー

林 和利 氏 (名古屋女子大学 文学部・大学院教授)

【ご経歴】

昭和27年生まれ。昭和51年早稲田大学卒業、昭和53年同大学大学院文学研究科芸術学(演劇)専攻博士前期(修士)課程修了。平成11年博士(文学)。昭和53年4月より東洋高等学校教諭、この時期に「人間国宝」野村万作師に師事。昭和59年4月より鹿児島女子大学(現、志学館大学)専任講師、昭和63年4月より同大学助教授。平成2年4月より名古屋女子大学短期大学部助教授、平成8年4月より同教授。平成14年より名古屋女子大学文学部教授・大学院人文科学研究科教授、現在に至る。名古屋にて平成5年狂言「鳳の会」、平成8年「なのり会」、平成11年「ナディア狂言」を発足させ、代表を務めたご経歴もあり、名古屋狂言界の応援団長として復興に尽力している。

5. 会 費 : 3,000円(当日ご持参下さい)

=====
一般社団法人中部産業連盟 会員事業部内
SAM名古屋支部事務局 小久保 宏樹
〒461-8580 名古屋市東区白壁三丁目12-13
TEL 052-931-3191(直) FAX 052-931-5198
SAM名古屋支部 sam-nagoya@chusanren.or.jp
E-mail kokubo@chusanren.or.jp
=====